

■教員の養成の目標及び計画

桜の聖母短期大学の教育理念

桜の聖母短期大学は、カトリックの精神に根ざした人間観・世界観に基づく知的・倫理的見識を養い、豊かな心と深い教養をもって、愛と奉仕の精神に生きる良き社会人を育成することを目的としています。

生活科学科【福祉こども専攻】

幼稚園教諭二種免許

福祉こども専攻が目指す教師像

幼児期の教育に必要な専門知識と技術を身につけ、子どもの育ちを大切にし、必要を見て自分から出向く実践力を備えた教員を養成するため、次のような能力の育成を目指しています。

- ① 自分を知り他者を理解して、お互いに協働する生き方の大切さの体験を通して、身につける豊かな教養と社会人基礎力

【共通科目】

- ② 幼稚園教諭(及び保育士)として求められる専門知識と技術

【専門科目】

- ③ 保育現場を理解し、専門知識と技術を用いて保育を実践できる能力

【幼稚園教育実習】

- ④ 保育の現場実習を通して身につけるコミュニケーション力や社会人としての礼儀

【幼稚園教育実習】

- ⑤ 2年間にわたる「講義」「演習」「実習」での学びを通して、また、その集大成としての「特別研究」を行い、身につける専門性、人間性、社会的適応性や実社会で主体的に生きる力

【特別研究】

1) 共通教育の目的・目標

よき市民・社会人としての教養と知識を身に付けることを目的としています。自らの問題を発見し、そのための情報を収集して論理的に思考・分析し、自分の考えを的確に表現し論証できる力を養います。また、生涯をとらして学習していく力の養成を目指し、次の5つの科目群を設定しています。

- ① 人間総合科目群
- ② 教養科目群
- ③ 外国語科目群
- ④ キャリア開発科目群
- ⑤ 健康科学科目群

2) 幼稚園教育実習の目的・目標

講義で学んだ理論や技術を、実践的な活動をすることによって体験から学び、理論の実践化を図ります。さらに幼稚園教諭としての資質の向上を目指し、自覚と責任をもって行動できる豊かな人間力を育成することができる。

また、実習を通して、子どもとの関わりの中で、子ども観(「子ども」とはどのような存在であるかと考えるなど)や保育観(子どもが発達するためにはどのようなはたらきかけをすればよいかと考えるなど)への理解を深めることができる。

幼稚園教育実習Ⅰ

幼稚園において保育の実際を観察し、保育に参加することによって、保育の流れや展開、子どもの理解、保育環境、幼稚園教諭の援助などを基礎的に学ぶことを目標とする。また、幼稚園教諭となるための自覚や基本的な態度、基礎的な資質・能力・技能を修得する。

幼稚園教育実習Ⅱ

「幼稚園教育実習Ⅰ」の参加観察実習の次の段階として、部分的に責任を伴う実習や全日、責任を伴う実習を行うことで保育に参加することにより、子どもへの理解を深め、幼稚園教育の目標、幼児の生活、保育内容、より具体的な幼稚園教諭の援助などを体験的に学ぶことを目的とする。実習園の保育者の指導のもと、実際に保育を行い、幼稚園教諭として必要な資質、能力、技術を修得する。

幼稚園教育実習実施時期(変更する場合もあり)

実習種別	実施時期
幼稚園教育実習Ⅰ	1年後期(10月中旬頃)
幼稚園教育実習Ⅱ	2年前期(5月中旬頃)

3) 特別研究開設授業科目

【子育て支援】【子どもの育ちと保育者】【こどもとことば】

【こどもと福祉】【こどもと健康】【こどもと保健】

○教員養成の計画

教員免許法施行規則に定められた科目を柱とした授業科目を体系的に編成した中で、幼稚園教諭教職課程のカリキュラムに基づいた単位を修得していく。

教職に関する科目とその学修時期を表1に示す。

幼稚園教諭関連科目とその学修時期

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
<ul style="list-style-type: none"> ・保育原理 ・こどもとことば ・保育内容総論 ・保育内容演習(人間関係) ・保育内容演習(言葉) ・保育内容演習(表現) ・保育内容演習Ⅱ(表現) ・保育表現技術(音楽表現) ・保育表現技術Ⅱ(音楽表現) ・英語ⅠAⅠ ・体育実技ⅠA ・情報演習ⅠA ・体育講義 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職入門 ・保育課程論 ・こどもと絵本 ・保育表現技術Ⅲ(音楽表現) ・保育表現技術Ⅳ(音楽表現) ・保育表現技術(造形表現) ・保育内容演習(健康) ・保育内容演習(環境) ・日本国憲法 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と教育 A ・児童と共に ・教育課程 ・幼児理解の理論と方法 ・教育相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と教育 B ・教育方法論 ・保育・教職実践演習(幼稚園) ・こどもと算数 ・こどもと生活 ・こどもの食と栄養 ・保育表現技術Ⅱ(造形表現)
通 年			
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育実習事前事後指導 ・幼稚園教育実習Ⅰ(1年次 10月) ・幼稚園教育実習Ⅱ(2年次 5月) 			

生活科学科【食物栄養専攻】

栄養教諭二種免許

○食教育の専門家としての栄養教諭

栄養教諭は、栄養士免許の取得が要件であるため、栄養士として必要な専門知識・技能・コミュニケーション能力を備え、常に新しい情報を収集し、その正しい評価・判定の能力を養う必要がある。同時に、教職に関する知識と実践力を備えた教員の養成を目指している。健全な心身と豊かな人間性を育むための「食育」に携わるにふさわしい資質能力を備えた教員に必要な要素を以下に示す。

- (1) 専門的な知識に基づく食に関する指導計画の構築と実践力。
- (2) 教育現場における、児童・生徒はもとより他の教職員また、家庭や地域との連携や協働のために必要なコミュニケーション能力。
- (3) 個人を対象とした食と健康に関する問題解決のため、共感する心を備えた栄養指導の能力。

○教員養成の計画

栄養士養成課程および栄養教諭の教職課程のカリキュラムに基づいた単位を修得していく。栄養士の基礎的な知識と技術を向上させるため「家庭料理技能検定」の受検を課す。また、課題の設定と問題解決能力を培うための「総合演習」を2年生の通年科目で履修する。

教職に関する科目とその学修時期を表1に示す。

栄養教諭関連科目とその学修時期

	1年後期	2年前期	2年後期
科目名	・教職入門 ・教育課程 教育実習報告会	・生徒指導 ・教育相談 ・栄養教諭活動論	・教育実践演習
		通 年	
		← ・栄養教育実習事前事後指導 ・栄養教育実習（9月）	


「教育実習報告会」は、1年生の栄養教諭履修者に向けたもので「栄養教育実習事前事後指導」の中で取り組んでいる。教育実習での心構えや準備に必要な事柄、研究授業の再現を取り入れたロールプレイなど豊かな内容となっている。

中学校教諭二種免許(家庭)

○教員養成の計画

担当職員による事務手続きに関する指導と教員による指導、または合同による指導を必要に応じて組み合わせ、以下のスケジュールに従って指導を行う。最終指導として、関係教職員及び1年生教職履修者出席による実習報告会を開催し、次年度の教育実習ならびに教職科目の事前指導の一環とする。

中学校教諭関連科目とその学修時期

	1年後期	2年前期	2年後期
科目名	<ul style="list-style-type: none"> ・教職入門 ・家庭科教育法 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導と進路指導 ・教育相談 ・道徳教育 ・特別活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実践演習
		 通 年 2月	
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護等体験施設見学 (3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前事後指導 ・教育実習 (5月中旬～6月上旬) ・介護等体験 (施設) 8月下旬～9月 (実習5日間) ・介護等体験 (学校) 10月～1月の中で (実習2日間) 	

「教育実習報告会」は、2年生の教職希望者に向けたもの。